

広島県立尾道北高等学校 令和2年度第1回学校運営協議会 会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和2年7月16日(木) 15:00~16:30	開催場所	尾道北高等学校 会議室								
出席委員	<p>出席委員人数：8人 委員氏名(役職)</p> <table border="0"> <tr> <td>砂田 勝彦(元尾道北高等学校長)</td> <td>林原 慎(福山市立大学教育学部教授)</td> </tr> <tr> <td>山北 篤(本校同窓会長)</td> <td>坂本 里美(尾道市政政策企画課長)</td> </tr> <tr> <td>井上 一男(栗原中学校長)</td> <td>小原 正啓(長江中学校長)</td> </tr> <tr> <td>瀬戸 務(本校PTA顧問)</td> <td>藤本 秀穂(尾道北高等学校長)</td> </tr> </table> <p><本校教職員：13人></p>			砂田 勝彦(元尾道北高等学校長)	林原 慎(福山市立大学教育学部教授)	山北 篤(本校同窓会長)	坂本 里美(尾道市政政策企画課長)	井上 一男(栗原中学校長)	小原 正啓(長江中学校長)	瀬戸 務(本校PTA顧問)	藤本 秀穂(尾道北高等学校長)
砂田 勝彦(元尾道北高等学校長)	林原 慎(福山市立大学教育学部教授)										
山北 篤(本校同窓会長)	坂本 里美(尾道市政政策企画課長)										
井上 一男(栗原中学校長)	小原 正啓(長江中学校長)										
瀬戸 務(本校PTA顧問)	藤本 秀穂(尾道北高等学校長)										
会議の概要	<p>1 開会行事 (1) 校長挨拶 (2) 学校運営協議会委員及び職員紹介</p> <p>2 学校運営協議会会長及び副会長の選出(互選) 会長 砂田 勝彦様 副会長 林原 慎様 砂田会長 挨拶</p> <p>3 会議(司会：林原副会長) (1) 学校経営計画及び今年度の取組説明 ①校長(今年度の学校経営計画の策定日程及び、重点目標3点について) ②主幹教諭(学校経営計画の今年度重点目標、新しい項目等の説明) ③校長(学校経営の基本的な考え方、ONOKITA Plus) ④健康教育部(新型コロナウイルス感染症対策) ⑤ICT推進委員(ICT教育の現状)</p> <p>(2) 質疑応答・協議 ①入学者選抜の志願倍率の低下について →中学校への丁寧な説明と、入試方式の変更により、志願者を増やしていきたい。 ②中学校での学力向上について →中学校では主体的な学びを目指し、学力の向上を図っている。 →中高一貫校がある地域では、一定の学力層が抜けている現状がある。高校としては地元の生徒に来てもらいたい。 ③難関大を目指す指導について、外へのアピールの仕方を工夫し、指導の意図がうまく伝わるようにしてはどうか。 →高い学力を身につけさせるために、教科を減らさない指導を行っている。 ④新型コロナウイルス感染拡大の影響により教育のフェーズが大きくかわる中、ICT教育における成果と課題は。 →ICTのおかげで休業期間に生徒とコミュニケーションが取れたことが大きい。Classiなどを活用し、学習状況の把握ができた。また十分に練られた教材の配布が適切なタイミングで行えた。 →教員のスキルの差をなくすために環境や研修体制の充実が必要である。 ⑤チューター制の取組について北高の学びをつなぐ取組として期待している。チューターの生徒の選任はどのように行っているか。 →まずは全員に参加してもらおう。次に希望する生徒や学年の推薦によって選任する。今後選任</p>										

	<p>された生徒には、校長から任命状を渡し、責任を持って取り組ませるとともに、活動履歴として記録に残していく。</p> <p>⑥以前中学校の授業に高校生がサポートとして参加してもらい、大変よかった。高校生が直接中学生に話をしてくれたらよいのではないかと。北高は「勉強は大変だけど楽しい」と生徒自身が発信してくれることで、「北高は大変」とのイメージを払拭することができるのでは。</p> <p>→中学生だけでなく、高校生にとっても勉強になる。連携をさせていただきたい。</p> <p>⑦卒業後の進路について。大学進学後、尾道に戻ってこない傾向があると聞く。地元への愛着をもって欲しい。地域の課題を解決するプログラムもあるので活用して欲しい。</p> <p>4 閉会行事 林原副会長 挨拶</p>
次回開催予定	第2回学校運営協議会は 10月を予定。